

委員会提出議案第2号

議会評価意見書の提出について

上記の議案を、小松島市議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出します。

平成30年9月28日

小松島市議会議長 武 田 清 殿

提出者 予算決算常任委員会
委員長 池 淵 彰

平成29年度事務事業
議会評価意見書

小松島市議会

議会評価意見書①

事業名	2-3-1	災害対策事業
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>災害対策に終わりはない。近年多発する自然災害や、今後懸念される南海トラフ巨大地震へ向け、あらゆる手段で防災・減災対策に取り組まなければならない。</p> <p>日本各地で多発する災害により、市民の防災に関する意識は高まっている。各自主防災組織を中心に更なる防災訓練や防災講話の実施を強化すべきである。自主防災組織の結成率 100%達成に向けて具体的に取り組むべきである。</p> <p>また、この事業は災害に対する防災意識の向上と食料品等の備蓄が主な事業であるが、避難所運営マニュアルの策定や職員の配置計画等を含めた地域防災計画の見直しも行うべきである。防災無線を改良するとともに、有効な伝達方法を研究・検討すべきである。</p>		

議会評価意見書②

事業名	4-2-5 中心市街地にぎわい創出事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>中心市街地活性化にとって大きな事業であるが、成果が見えにくい。</p> <p>企業誘致施策の一つとして一定の効果は得られているが、さらに周知・広報の手段等を改善し起業のメリットを伝えるべきである。</p> <p>本事業を活用した事業者のこれまでの検証や、募集要項の見直し、改善を図り、更なる効果を期待する。</p> <p>この事業が一過性にならないように継続して取り組まなければならない。</p>		

議会評価意見書③

事業名	4-2-7 地域おこし協力隊事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>地域おこし協力隊は必要である。</p> <p>隊員に地域おこしを頼るのではなく、地元から地域を活性化できるように協力隊を活かすべきである。さらに、隊員の活躍できる環境づくりも課題と考える。また、現状では協力隊の成果が一部の地域にしか見えてこない。</p> <p>定住促進への補佐も行政だけでなく、市民にも協力を求めるべきである。</p>		

議会評価意見書④

事業名	4-2-9 観光・イベント振興事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>観光イベントや花火大会、お祭り等を開催し、PR や交流、人口増加などにつながる本市にとって不可欠な事業となっているが、一部マンネリ化の傾向があり、内容の充実や規模の見直し等が課題と考える。</p> <p>また、イベントの開催において、警備費等の安全対策費が高騰しており、財源確保も今後の課題である。</p> <p>小松島市観光協会を早急に設立し、観光資源の開発促進をすべきである。</p>		

議会評価意見書⑤

事業名	4-3-2 道路橋梁整備交付金事業（防災・安全整備計画）	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>安全・安心な地域づくりのために必要な事業であり、市民の要望度も高い。全国的にも、老朽化した道路・橋梁等のインフラ更新事業は、喫緊の課題である。</p> <p>本市においても、維持管理や更新に多額の費用が掛かることから、今後も国からの交付金を活用すると共に、必要性・効率性等総合的に勘案して、維持・更新しなければならない。</p>		

議会評価意見書⑥

事業名	4-3-10 排水機場管理運営事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>近年、台風、集中豪雨による大規模水害が全国各地で頻発しており、早急な対策が望まれる。</p> <p>しかし、本市の施設の老朽化も進んでおり、維持管理には多額の費用が必要となるため、速やかに個別施設計画を作成し、ランニングコストの軽減を図り、迅速な排水の対応ができるよう施設の充実を図るべきである。</p> <p>また、管理人の確保も困難になっていることから、管理体制の制度づくりについても検討が必要である。</p>		

議会評価意見書⑦

事業名	4-4-3 日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>市民の健康増進や防災活動の拠点施設となる重要な事業である。</p> <p>整備には多額の費用を要するため、国からの交付金や県からの補助金の確保に努め、防災機能を兼ね備えた都市公園として平成34年度までの完成を目指し、確実に事業を進めていかなければならない。</p>		

議会評価意見書⑧

事業名	4-4-10 小松島南部地区都市再生整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>個性豊かで、多様な価値の提供が期待される地域活性化の拠点施設の整備をはじめ、本市のまちづくりに必要不可欠な事業である。</p> <p>地域活性化インターチェンジの設置に向け早期に取り組むとともに、インターチェンジ開通後の周辺の活性化を図り、開発できるように対応すべきである。</p>		

議会評価意見書⑨

事業名	4-5-1 公営住宅管理費	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>施設の老朽化も進み、修繕維持管理費も増えている。施設の適切な維持管理を進めるとともに、今後は管理戸数の削減に努めるべきである。</p> <p>管理については、民間委託も視野に入れ、経費削減に取り組むことも検討すべきである。</p>		

議会評価意見書⑩

事業名	4-5-3 空き家等対策事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>小松島市空き家等対策計画が策定され、今後は計画に基づき、具体的に実施していかなければならない。</p> <p>危険性の高い空き家の所有者に向けて適正管理や除却の指導等、積極的な働きかけを行うべきである。</p> <p>また、空き家は今後もますます増加が予測され、市民からの除却補助の要望が多く、補助金の拡充を求める。使いやすい制度に見直す必要がある。</p>		

議会評価意見書⑪

事業名	5-2-10 小松島老人いこいの家建設事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>老朽化した施設であり、要望度は高い。当該複合施設は、これからの「公民館」「学童施設」さらには「高齢者サロン」等を考える上で、先進的なモデルケースとして各地域に施設の増設を進めるべきである。</p> <p>また、当該施設は避難所の機能を有するため、施設用地の嵩上げが必要である。防災面の視点から地域の防災拠点として新しいアイデアを盛り込んだ施設にすべきである。</p>		

議会評価意見書⑫

事業名	5-2-12 一般廃棄物中間処理施設広域整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>現行の施設は建設から35年が経過、耐用年数を超過しており、老朽化に伴い、管理コストも増えつつある。施設の更新は喫緊の課題であり、必要不可欠である。</p> <p>しかしながら、本市の財政状況を考えると単独整備は困難であり、2市4町による広域整備事業として徳島市へ事務委託方式として進めている。</p> <p>現在の建設候補地については、本市の水源地に近い為、水質など環境面に対して懸念する市民の声も聞かれる。今後、事業推進にあたり、事業主体である徳島市と密に連絡をとり、市民に十分な説明と理解を求めるべきである。</p>		

議会評価意見書⑬

事業名	5-2-16 葬斎場建設事業	
議会評価	5	終期設定し終了
<p>【評価説明】</p> <p>旧葬斎場を解体し、跡地に駐車場を整備することで、葬斎場建設事業を全て終了した。平成28年度事務事業議会評価意見書で述べたように、本施設の周辺に樹木を植え、周辺環境との調和を図るべきである。</p>		

議会評価意見書⑭

事業名	5-4-1 葬斎場管理運営費	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>新施設の運営形態は指定管理者による管理運営が行われている。</p> <p>今後も円滑な事業を行い、経費節減を進め利用者のニーズに沿った良好なサービスに努めるよう指定管理者に対する指導監督を行うべきである。</p>		

議会評価意見書⑮

事業名	6-4-15 認定こども園運営事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>少子化が進む中で、今後も幼児の数は減少していく見通しである。</p> <p>しかし、保護者の就労形態や家庭環境により、教育、保育へのニーズも多種多様化していることを踏まえ、認定こども園への移行と、幼稚園、保育園の統廃合も含めた基本計画を急ぎ策定すべきである。</p>		

議会評価意見書⑩

事業名	6-5-19 障がい福祉サービス事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>障がい者が、日常生活および社会生活を営む為、必要不可欠な事業である。国、県に向けての財源確保に努め、職員のスキルアップをさらに進めていかなければならない。</p> <p>また、弱者切り捨てとならぬよう、国の厳しい基準もあるが、サービスを受ける方々にとって、充実したサービスかつ柔軟な対応が求められる。</p> <p>今後の事業事務においては、民間への事務委託方式なども検討をすべきである。</p>		

議会評価意見書⑰

事業名	7-1-6 スクールバス運行委託料	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>事業費が増加傾向にある中で、一人当たりの費用対効果や経費削減を再考し、今後の小学校再編も視野に入れた方向性を考えていかなければならない。</p> <p>平成28年度事務事業議会評価意見書を受け、「スクールバス運行以外の通学支援策を早期に講じる」との方針は、評価できるものである。</p> <p>しかしながら、さらにマイクロバスやタクシー、乗り合いバス定期券補助など具体的な通学支援策の比較検討を行い、平成31年4月には、改善が図られるように進めるべきである。</p>		

議会評価意見書⑱

事業名	7-2-10 公民館整備事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>公民館は地域住民の交流の場として重要な役割を果たしており、また、災害時の避難所としての役割も大きく、早期の整備が求められる。</p> <p>しかし、今回の整備計画については「小松島市公共施設等総合管理計画」との整合性及び整備計画の完了見通しが明確でないため、個別施設計画の策定が急務である。老朽化の進む中、早期に適切な整備計画を立て、市民が安全安心で快適に利用できる施設にすべきである。</p>		

